



# 日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

## 2023年度 秋季大会

2023年10月28日(土)・29日(日) オンライン開催

10月28日(土)

口頭発表		A会場 (Zoom1)		B会場 (Zoom2)		C会場 (Zoom3)		D会場 (Zoom4)	
司会(補助)		太田 陽子 (苅宿 紀子)		池上 尚 (鴻野 知暁)		松浦 年男 (坂井 美日)		田中 祐輔 (大田垣 仁)	
ホスト		ライ・タイム・ホア		盧 彭暉		加藤 敬介		田 鈺	
セッション1	11:00   11:40	A-1	動作主を抑制する結果表現  新山 聖也	B-1	文雄『磨光顔鏡』華音における 入声韻尾の仮名表記について  王 曹傑	C-1	補助動詞として使われる 「きる」の意味と結合制約  張 栩	D-1	児童作文における学齢別の話の 展開の仕方 —「学校生活・学校行事」に ついての作文を資料として—  加藤 恵梨 角谷 昌範
	11:50   12:30	A-2	能動態・受動態の選択に 影響する諸要素と 文脈との関わりについて  劉 志毅	B-2	荷田春満の資料にみる 近世京都方言の低起式音調  中村 明裕	C-2	「名詞+で」句による文中成分に 対する描写表現  難波 えみ	D-2	新語「まである」の意味機能に 関する一考察 —肯定文におけるレトリック的 現象の例として—  肥田 葉奈
休憩 (60分)									
司会(補助)		苅宿 紀子 (太田 陽子)		鴻野 知暁 (池上 尚)		坂井 美日 (松浦 年男)		大田垣 仁 (田中 祐輔)	
ホスト		ライ・タイム・ホア		盧 彭暉		加藤 敬介		田 鈺	
セッション2	13:30   14:10	A-3	「てあげる」の恩恵性と方向性に 着目した「てあげてください」の 使用動機 —ポライトネスの観点から—  数納 風香	B-3	係り結び史から見たサソの文 —古典語と現代語を通じて—  蔦 清行	C-3	日本語自然発話における 「か」疑問文の 文末イントネーションとその機能  彭 濤	D-3	機能語の使い分け問題において 機械学習でのアプローチに シソーラスを用いる有効性 —受身文における「によって」と「に」を 中心に—  陳 柏丞
	14:20   15:00	A-4	テクレルの使用条件について  楊 世沢	B-4	人称詞「こなた」の成立  山中 梓	C-4	終助詞による命令文の 意味の規定 —福井県嶺北東部方言における 共通語「ヨ」相当終助詞の分布—  福田 建	D-4	新聞コラムに見られる文体特徴 —社説との比較を通して—  劉 宵妮
	15:10   15:50	A-5	被使用者が無情物の 使役構文の用法とその周辺化  李 翹彤	B-5	現代語において使用が衰えた 形容詞・形容動詞について  中川 秀太	C-5	「要するに」の使用実態と 用法の分析 —『日本語日常会話コーパス』を 用いて—  李 琦	D-5	現代日本語におけるキャラ語尾 の位置づけ およびリソースについて  劉 天陽
	休憩 (10分)								
大会式典会場 (oVice)									
司会		石黒 圭							
ホスト(補助)		田中 啓行(謝 正科)							
16:00   16:30	大会式典	会長挨拶						日本語学会会長 近藤 泰弘	
		学会賞授賞式							
談話室	11:00-16:30	オンライン談話室(oVice)	会場担当:(午前)田中 啓行 (午後)宮澤 太聡						
懇親会	16:30-18:00	オンライン懇親会(oVice)	司会:小木曾 智信 会場担当:田中 啓行 宮澤 太聡						

10月29日(日)

ワークショップ		A会場 (Zoom1)	B会場 (Zoom2)
セッション3	ホスト(補助)	澤村 美幸	
	9:30   11:00	ワークショップ 1 コーパスと語彙資源の連携  発表者：小木曾 智信 近藤 明日子 高橋 雄太 片山 久留美 浅原 正幸 司会：小木曾 智信	ワークショップ 2 縦断作文コーパスに見る学習者の日本語習得過程  発表者：本多 由美子 陳 燕青 ライ・ティン・ホア レー・ティ・トゥー・ハー 呉丹 司会：本多 由美子

休憩 (30分)

ポスター発表・オープン学生セッション会場 (oVice)

セッション4		北崎 勇帆 李 婷 田中 啓行		
セッション4	11:30   13:00	P-1 現代語における二重撥音化と撥音連続回避現象  坂本 麻輝	11:30   12:20	O-1 感情形容詞の連用用法に関する類型論的研究 万巨鳳
			O-2 ビア・レスポンス活動における学習者エンゲージメントの一考察 —学習者の多面的な関わりへの分析を中心に— 何佳欣	
			O-3 人教版日本語教科書における副詞の実態について 洪秀雅 李雪晴	
			O-4 文系学術論文における婉曲表現の考察 —「と思われる」「考えられる」を中心に— 湯家未	
			O-5 『狭衣物語』諸本のコーパス化のころみ 野田太暉	
		P-2 近代における日本と中国の外来語・翻訳語形成に関する一考察 —「経済」「政治」「大学」などの言葉を例として—  鄭 祚明	O-6 言語の逆向遷移から中国人日本語学習者における「日本語借用語」の誤用研究 —日中新聞ニュースを中心に— 張雅芝	
			O-7 創作物における魔法の呪文の形態・音声的分析—「女神転生」の場合— 湯本華	
			O-8 井波陵一訳『紅樓夢』のパラテキストの研究 王春蘊	
	(10分)			
	12:30   13:20	P-3 訓点データベースの作成と活用について  蛭沼 芽衣 藤田 優子	12:30   13:20	O-9 「中国」か「支那」か「清国」か —『清議報』日本語雑誌翻訳記事における中国人の国名の自称の選好について— 古谷創
				O-10 「話す」課題と「書く」課題に見られる中国語母語話者の日本語受身文の使用実態 李悦莹
				O-11 日本語オノマトペの韓国語訳 —『ハチミツとクローバー』『ハイキュー!!』のオノマトペを対象に— 佐藤奈波
				O-12 中国人日本語学習者コーパスに基づいた「自分」の用法分析 李雪晴 洪秀雅
		P-4 『辞書語彙データベース』の構築と展望 —異種古辞書連携のためのキー策定を目指して—  藤本 灯 久保 柊子 劉 冠偉		O-13 一般言語学的な「焦点」から見る係り結びの「焦点」 小原真佳
				O-14 日本語アカデミック・ライティングにおける論証の展開 —中国語を母語とする日本語学習者のピア・レスポンスに着目して— 李嘉璇 聶梓晴
				O-15 映画ポスターにおけるキャッチフレーズに関する中日対照研究 周源
				O-16 「の」と「に」の混用からみる学習者の誤用メカニズム 孫之依
O-17 首都圏在住女子大学生における「これはあなたの傘ですか？番号B-D-5-2 青井上(あおいうえ)と書いてあります。」に該当する表現の言語行動学的研究 —相手の年齢・性・親疎関係等によるスタイル・シフティングの傾向— 陳麗娟 長倉莉子 富岡乃菜 犬塚しおり				
フリータイム	(20分)			

休憩 (40分)

シンポジウム会場 (Zoom1)

セッション5		中川 奈津子 (石黒 圭)
セッション5	14:00   17:00	シンポジウム 日本語学と国語教育との接点(学会創立80周年記念大会プレ企画)  日本語学と国語教育学との接点 パネリスト 勘米良 祐太 (武蔵野大学) 教育科学研究会・国語部会における言語教育について—文法教育のばあい— パネリスト 喜屋武 政勝 (沖縄大学)  多様な子どもたちが学ぶ「国語」の当事者として—日本語学からみた国語教育との接点— パネリスト 佐藤 栄作 (愛媛大学名誉教授) 指定討論者 矢澤 真人 (筑波大学名誉教授) 司会 山東 功 (大阪公立大学) 企画担当 山東 功 小林 正行 佐藤 栄作 田中 牧郎 (中高生日本語研究コンテスト実行委員) 池上 尚 澤村 美幸 (大会企画運営委員)

談話室 9:30-17:00 オンライン談話室(oVice) 会場担当:宮澤 太聡

書籍展示ブース 11:00-14:00 オンライン書籍展示(oVice:オンライン談話室内)

〔大会企画運営委員会〕 石黒圭(委員長) 庵功雄(副委員長) 小木曾智信(副委員長) 池上尚 大田垣仁 太田陽子 苅宿紀子 北崎勇帆 鴻野知曉 坂井美日 澤村美幸 田中祐輔 中川奈津子 松浦年男 李婷 田中啓行(委員長補佐) 宮澤太聡(委員長補佐)  
 〔オンライン大会スタッフ〕 中川奈津子(連絡会長) 庵功雄 池上尚 石黒圭 遠藤佳那子 太田陽子 大田垣仁 岡田一祐 小木曾智信 苅宿紀子 北崎勇帆 鴻野知曉 坂井美日 澤村美幸 高木千恵 田中啓行 田中祐輔 野間純平 松浦年男 宮澤太聡 村山実和子 八木下孝雄 山田昌裕 李婷